

# 学習課題(小学校4年生)

## 【算数】

<学習内容>

◆「2けたの数のわり算」(教科書79~84ページ)

94 ÷ 32 の計算のしかたを考えよう。

(1) 94 ÷ 32 の計算をひっ算で行いました。まず、商に3をたててみると、32 × 3で96となりました。

			3
3	2	)	94
			96

あれ? 96だと94から引くことができないよ。どうしたらいいかな?



3	2	)	94



※マスの中に、数字を入れて、ひっ算を完成させよう。



見当をつけた商が大きすぎたときは、どうすればいいのかな?

商を  小さくして、正しい商をみつけるといいよ。

87 ÷ 17 の計算のしかたを考えよう。

(2) わる数の17を20とみて計算しようと思いました。

			4
(20)		)	87
1	7		68



20 × 4だと  だから、わられる数より小さいし、ちょうどいいかな。

17 × 4

まだ、ひけると思うけどな。





見当をつけた商が小さすぎたときは、どうすればいいのかな？

1	7	)	87



商を する。

3けたになっても、同じように計算できるかな。

(3) 商は何のくらいにたつかな？

①					
2	1	)	1	7	2

わられる数の21を今度は、20と考えるみようかな。



3けたでも2けたのように計算できるのかな？  
もしかしたら、4けたになってもできるのかな？

②					
1	2	)	3	8	5

※教科書 84 ページのわり算の問題をひっ算で計算してみよう。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆ 2けたの数のわり算（教科書 P79～84）

- ・商の見当をつけるという学習は、次の概数の学習につながります。
- ・わられる数が2桁の時の計算のしかたを適用させると、3桁や4桁になっても同様にできることを子どもに実感させたい場面です。